

トラウマと愛着 — ”こころのエネルギー” から見る子どもの理解と支援 —

公認心理師 臨床心理士 若山和樹 先生

このたび、トラウマや発達支援に携わっておられる若山先生をお迎え、現場で出会う子どもたちの姿を手がかりに、トラウマ・アタッチメント・発達の重なりを学びます。支援者自身の心にも目を向け、双方向で語り合いながら、明日からの支援にそっと力を添える講演会になれば幸いです。

日本学校教育相談学会 静岡県支部理事長 原田まや子

講 師 名古屋掖済会病院 精神科心理士 若山和樹 先生

日 時 令和8年9月6日(日)午後1時30分から4時 (質疑応答を含む)

会 場 学校法人名古屋大原学園 浜松キャンパス (浜松市中区板屋町101-8)

参 加 費 1,000円 相談学会会員は無料

申 込 み 直接会場へおいで下さい。

講師ご紹介

平成27年より 愛知学院大学心身科学部 心理学科助手

小学校スクールカウンセラー、精神科クリニック等で臨床心理士として勤務

令和元年より 名古屋掖済会病院 精神科心理士(現職)

令和2年より カウンセリングルーム 9B 勤務

令和4年より 日本福祉大学健康科学部 非常勤講師

著書に『振り回されるのはやめるって決めた』(ディスカヴァー・トゥエンティワン)

訳書に『トラウマと解離の文脈:ピエール・ジャネの再発見』(金剛出版)

共著に 友田明美・杉山登志郎編『子どものトラウマ治療』(診断と治療社)

杉山登志郎編『TS プロトコールの臨床』(日本評論社)

若山先生よりメッセージ

「気になる子」を前にしたとき。

どうしてこうなっているのか、どのように支援をしたらいいのか。

迷う場面は少なくないと思います。

本講演では、トラウマ・愛着・発達障害を「こころのエネルギー」という視点から捉え直し、子どもの理解と支援を考えます。

支援する側が消耗しないための境界線にも触れます。

